

Chrysanth Mail Manager

ユーザ ガイド

目次

はじめに.....	5
システム要件.....	7
インストール.....	7
設定および実行.....	8
スクリーンショットによる簡単機能紹介.....	10
主な機能.....	15
スパム ブロック機能.....	15
ポータブル スпам ブロッカとしての機能.....	15
電子メール通知機能.....	17
メニュー.....	19
[ファイル] メニュー.....	20
メールのチェック.....	20
メールの処理.....	20
停止.....	21
[表示] メニュー.....	22
電子メール クライアント.....	22
自動フィルタ.....	22
自動幅.....	24
グループ化ボックス.....	25
フィールド選択.....	26
すべてを展開.....	27
すべてを閉じる.....	27
グリッドを表示.....	27
バンドを表示.....	27
並べ替えを解除.....	27
デフォルトに回復.....	28
[電子メール] メニュー.....	29
メールを見る.....	29
メールをお友達リストに追加.....	29
電子メールをブラックリストに追加.....	30
電子メールを電子メール リストから削除.....	30
ドメインをお友達リストに追加.....	30
ドメインをブラックリストに追加.....	31
ドメインを中立リストに追加.....	31

ドメインをドメイン リストから削除.....	31
メール リストを消去	32
[設定] メニュー	33
オプション.....	33
アカウント.....	34
電子メール リスト.....	35
ドメイン リスト.....	36
DNSBL サーバ.....	38
フィルタ	39
[履歴] メニュー	42
履歴	42
メール ログ.....	42
[ヘルプ] メニュー	43
shareEDGE DNSBL	43
オンライン ヘルプ	43
バージョン情報	43
メニュー バーおよびツールバーのカスタマイズ	45
メニュー バーのカスタマイズ.....	45
ツールバーのカスタマイズ	45
カスタマイズ.....	46
その他の情報.....	49
ヒントとトリック	49
サポートされているプロトコル.....	51
サポート	52

はじめに

今日のインターネットや電子メールの普及に伴い、SMTP プロトコルなどのインターネット技術の乱用によるスパムの問題が深刻化しています。スパムは、一般に迷惑メール メッセージとして分類され、これらの迷惑メールに悩まされているユーザの数は年々増加の傾向にあります。

スパムには、以下の特徴があります。

- 頼んでもいないのに一方的に送られてくる
- 無作法にみだらなサービスや製品を押し付ける
- 送信者を特定できない
- メーリング リストから抜けられない
- 紛らわしい件名やヘッダ行が使用される
- 毎日のように膨大に送られてくる
- 悪徳商法やフィッシング詐欺のような不誠実な目的
- ウィルスを含んでいる可能性がある
- 正当なメールを探し出す時間を浪費してしまう
- 不要なスパムでダウンロード バンド幅を浪費してしまう

現在、これらのスパムをストップさせるためのさまざまな試みがありますが、残念ながら、いずれも完全にストップさせるまでは至っていません。

今までも、特定のキーワードを含むメールや特定の送信元からのメールは自動的に別のフォルダに移動するなど、フィルタ ルールを作成してスパムを仕分けした経験があるかもしれません。しかし、スパマ (スパムの発信者) はキーボード上では探すことのできない変わった文字を使用することもあるため完全に対応することは難しかったはずです。また、これらのフィルタリング処理を行うには、結局のところメール サーバからメールをダウンロードしなければなりません。メールの数が多い場合や、添付ファイルが含まれている場合は、ダウンロードにかかる時間だけでもばかになりません。接続がタイムアウトしてしまうこともあるでしょう。

このような状況に対処するために開発されたのが **Chrysanth Mail Manager** です。**Chrysanth Mail Manager** を使用すれば、メールを通常の電子メール プログラムにダウンロードすることなく、メール サーバ上で処理できます。不要なメールはその場で削除することができるため、必要なメールだけをダウンロードすることが可能になります。

また、アドレスが存在しない旨を示すメッセージをスパムに送信することで、同じようなメールが今後送信されないように予防策を講じることもできます。今までスパム対策に費やしてきた時間がいかに軽減されるか考えてみてください。

小さな貯金箱にお小遣いを貯めるかのように、時間銀行 (タイムバンク) に時間を貯める喜びを味わえるでしょう。スパムに奮闘する時間を減らし、実際に追加の時間を得たことを実感できるでしょう。スパムの処理は、**Chrysanth Mail Manager** にお任せください。

システム要件

Chrysanth Mail Manager をインストールして使用するには、以下の要件を満たしている必要があります。

CPU	Intel Pentium II またはそれ以上
オペレーティング システム (OS)	Windows 95/ 98/ ME/ 2000/ XP
物理 RAM	128 MB
空きディスク容量	20 MB

注意: エミュレータ環境はサポートしていません。

インストール

Chrysanth Mail Manager をインストールするには、以下の手順に従います。

1. Chrysanth Mail Manager のインストール プログラムをダブルクリックします。
Chrysanth Mail Manager のセットアップ ウィザードが自動的に開始します。
2. セットアップ ウィザードの [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。
3. [ライセンス契約] 画面が表示されたら、ライセンス契約書を注意深く読みます。
 - ライセンス契約書の条項に同意する場合は、[承認する] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。
 - 同意しない場合は、[キャンセル] をクリックして、Chrysanth Mail Manager のインストールを中止してください。
4. [ソフトウェアのアクティベーション] 画面が表示されたら、製品シリアル番号とアクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。

メモ: 製品シリアル番号とアクティベーション キーは、製品を注文すると、電子メールで配信されます。

5. [ユーザ情報] 画面が表示されたら、[性] と [名] の各ボックスに入力して、[次へ] をクリックします。

6. [インストール先の選択] 画面が表示されたら、**Chrysanth Mail Manager** のインストール先フォルダを指定して、[次へ] をクリックします。
7. [プログラム グループの選択] 画面が表示されたら、[スタート] メニュー内の **Chrysanth Mail Manager** のショートカットを作成するフォルダを選択して、[次へ] をクリックします。
8. [ショートカット作成オプションの選択] 画面が表示されたら、必要に応じてオプションを変更して、[次へ] をクリックします。
9. [インストールの準備完了] 画面が表示されたら、[インストール] をクリックして、インストール処理を開始します。
10. [セットアップ完了] 画面が表示されたら、[終了] をクリックして、ウィザードを閉じます。

設定および実行

以前にアンチスパム ツールを使用した経験がなくても、**Chrysanth Mail Manager** の設定は非常に簡単に行えるため、5 分もかからず使い始めることができるでしょう。

Chrysanth Mail Manager を設定するには、以下の手順に従います。

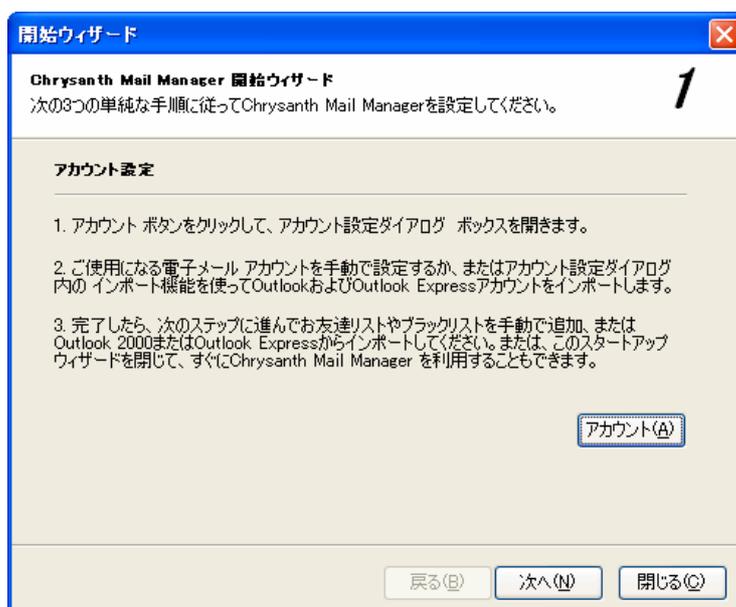
1. 以下のいずれかの方法で、**Chrysanth Mail Manager** を起動します。
 - [スタート] メニューから [すべてのプログラム]、[Chrysanth]、[Chrysanth NETime]、[Chrysanth Mail Manager] の順にクリックします。
- または
- **Chrysanth Mail Manager** のインストール時に作成したデスクトップ ショートカットまたはクイック起動ショートカットをダブルクリックします。



2. **Chrysanth Mail Manager** がスパムを識別およびフィルタリングするための電子メール アカウントを設定します。
 - [設定] メニューの [アカウント] をクリックします。
 - 既存の **Outlook** または **Outlook Express** のメール アカウントをインポートするには、[インポート] ボタンをクリックします。アカウントを手動で設定するには、[追加] をクリックして、[アカウント詳細] ダイアログ ボックスに必要な情報を入力します。
 - ご使用のメール アカウントの設定が終了したら、[閉じる] をクリックして、[アカウント設定] ダイアログ ボックスを閉じます。
3. これで準備完了です。[メールをチェック] ボタンをクリックすると、メール ヘッダが **Chrysanth Mail Manager** に取り込まれ、各メールに対して識別処理が実行されます。この処理によって、メールが現在の設定に応じて "**スパム**"、"**正常**"、"**お友達**"、"**ブラックリスト**" として識別されます。
4. 多くのスパムが見つかりましたか? メール リストの [削除] または [拒否] カラムを確認します ([拒否] カラムのボックスがチェックされていると、送信元にあなたのアドレスが存在しない旨を示すメッセージが送信されます)。間違ってスパムとして識別されたメッセージを見つけたら、[削除] ボックスのチェックを解除してください。
5. **Chrysanth Mail Manager** による識別処理が正しいことを確認したら、[メールを処理] ボタンをクリックして、これらのスパムをメール リストから削除します。
6. [表示] ボタンをクリックして、通常ご使用の電子メール プログラムを起動します。本当に必要なメールのみがダウンロードされることを確認できるでしょう。

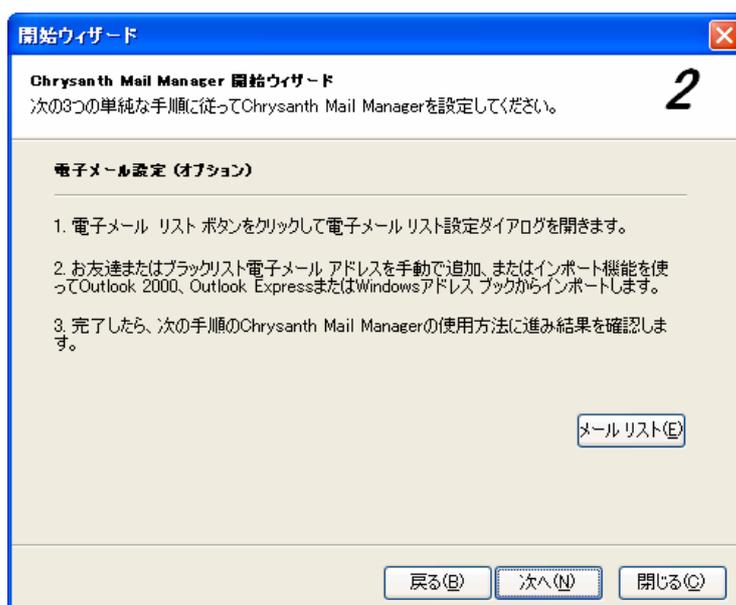
スクリーンショットによる簡単機能紹介

ここでは、Chrysanth Mail Manager の優れたスパム処理機能についてスクリーンショットを用いて簡単に紹介します。なお、詳細な機能説明については、該当するトピックを参照してください。



スクリーンショット 1

(1、2、3 で簡単) Chrysanth Mail Manager の開始ウィザードの手順 1 です。



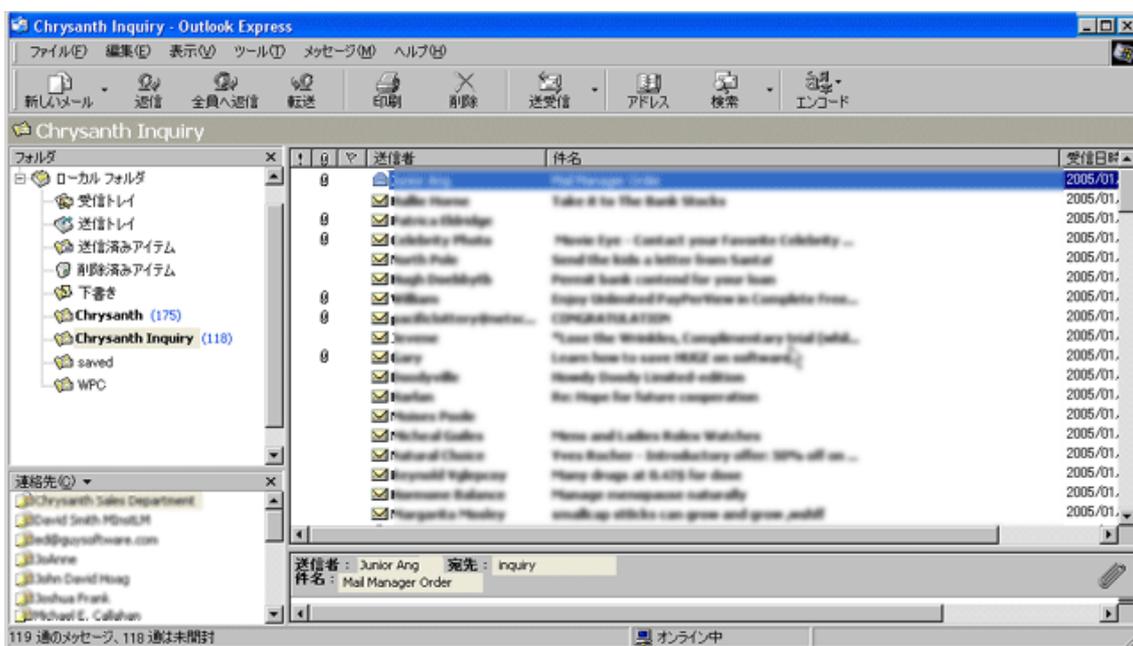
スクリーンショット 2

(1、2、3 で簡単) Chrysanth Mail Manager の開始ウィザードの手順 2 です。



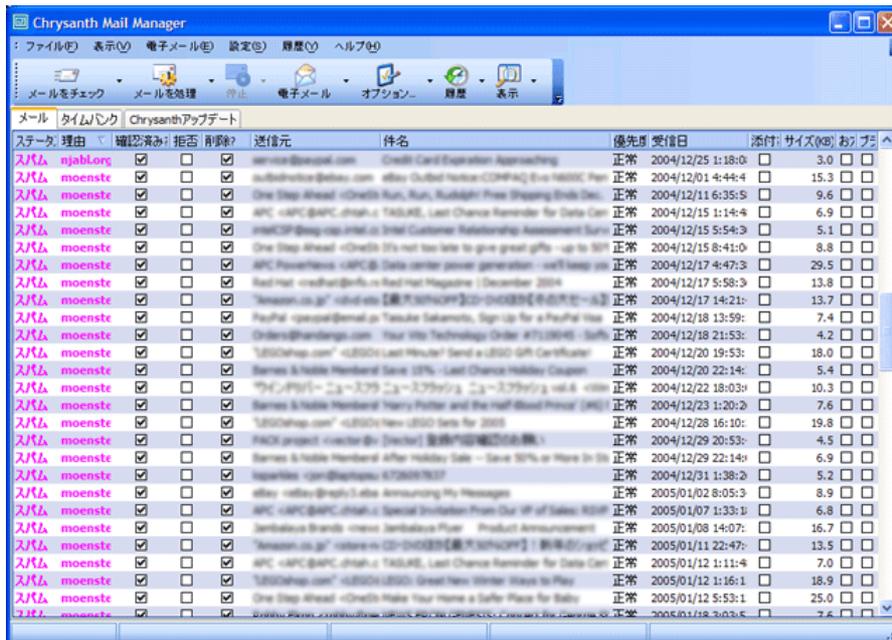
スクリーンショット 3

(1、2、3 で簡単) Chrysanth Mail Manager の開始ウィザードの手順 3 です。



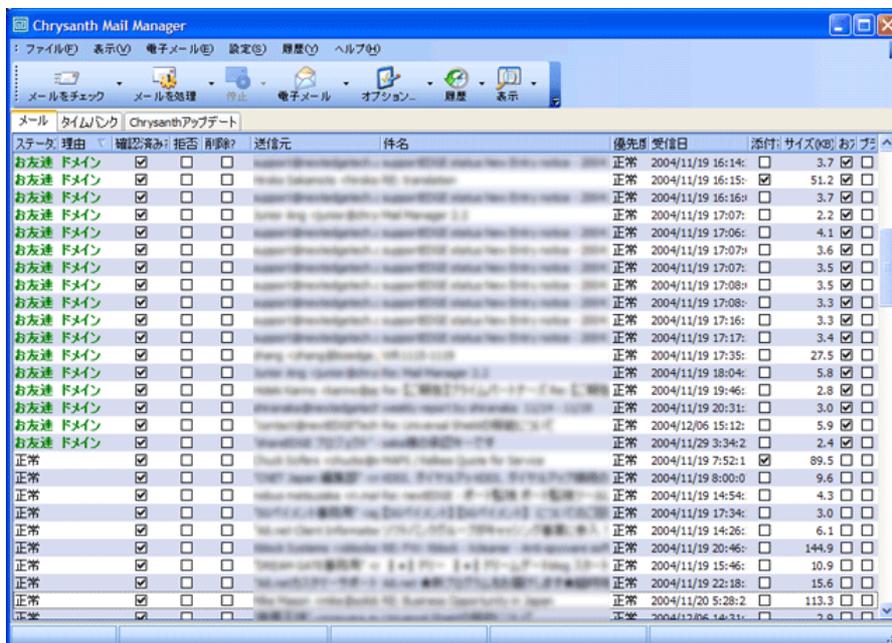
スクリーンショット 4

Chrysanth Mail Manager で事前処理を行わずに、Outlook Express で特定のアカウントのすべてのメールをダウンロードしている画面です。



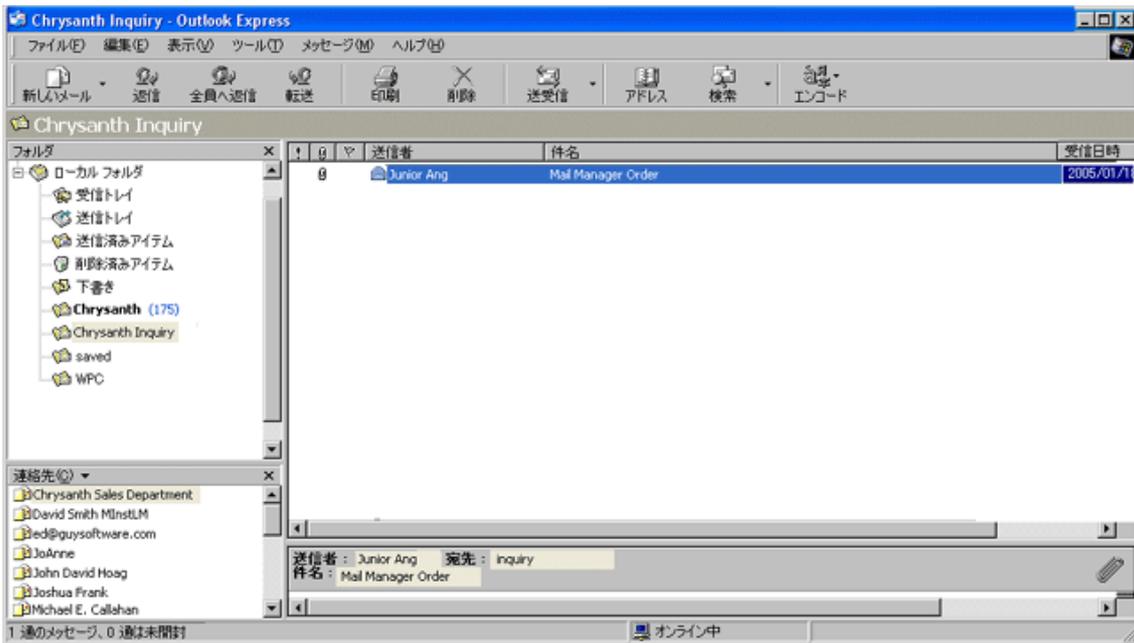
スクリーンショット 5

Chrysanth Mail Manager のメイン ウィンドウです。すべてのスパムが識別され、ハイライトされています。あとは 1 回のクリック操作だけですべてのスパムを削除することができます。



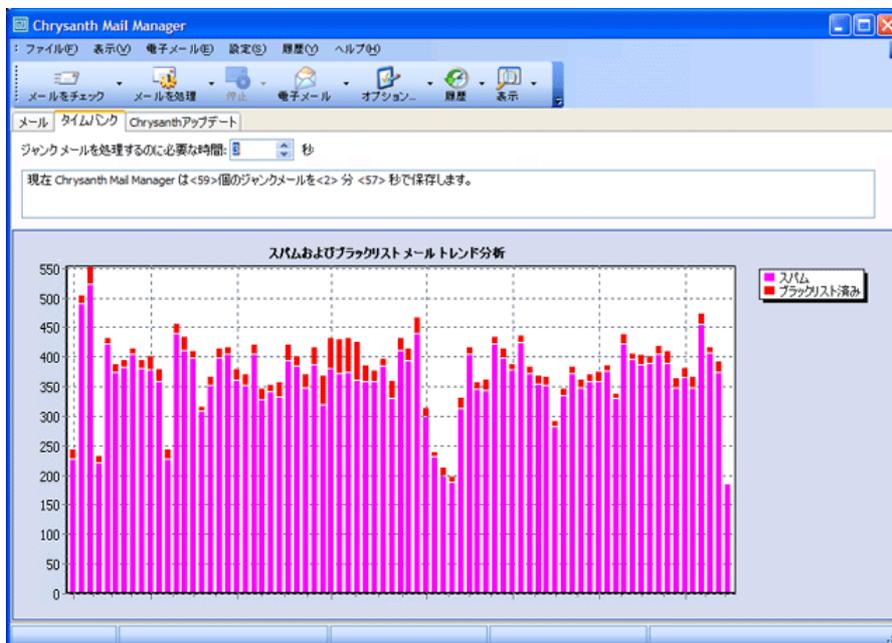
スクリーンショット 6

スクリーンショット 5 のすべてのスパムが処理された後の画面です。不要なスパムがすべて削除され、本当に必要なメールだけを表示しています。



スクリーンショット 7

この画面をスクリーンショット 4 と比較してみてください。Chrysanth Mail Manager を使用することで、簡単に必要なメールだけをダウンロードすることができます。



スクリーンショット 8

Chrysanth Mail Manager のタイムバンクです。Chrysanth Mail Manager を使用することで削減できた時間を表示しています。いかに簡単にスパムをストップし、時間を軽減できたかが一目瞭然です。

主な機能

スパム ブロック機能

効果的にスパムをブロックするために、Chrysanth Mail Manager では正当なメールとスパムを区別するための 3 つの技術を採用しています。

- **DNSBL サーバ** — スパムは、世界中のセキュリティの低いメール リレイを利用して、ゴミを送り出しています。この状況を打破するために、DNSBL サーバがこのようなリレイ リストを維持しています。Chrysanth Mail Manager では、一般的な方法では識別できないメールについて、送信元を 1 つまたは複数の DNSBL サーバでチェックし、スパムとしての応答を待ちます。詳細については、38 ページの「[設定 — DNSBL サーバ](#)」を参照してください。
- **お友達リストとブラックリスト** — Chrysanth Mail Manager では、Outlook 2000 (またはそれ以降) および Windows アドレス帳の連絡先をお友達リストに簡単に登録できます。同様に、ブラックリストにも、二度と受信したくないメール送信者を登録できます。さらに、お友達リストまたはブラックリストにドメイン (電子メールアドレスの "@" マークの右側の部分) を登録すれば、そのドメインに含まれる広範囲なアドレスに対応することも可能です。Chrysanth Mail Manager のメール リストでは、お友達、ブラックリスト、スパム、およびフィルタのように色分けされるため、各メールの分類が容易になります。詳細については、35 ページの「[設定 — 電子メール リスト](#)」および 36 ページの「[設定 — ドメイン リスト](#)」を参照してください。
- **フィルタ** — Chrysanth Mail Manager では、スパムを選別するためのルールを簡単に設定できます。フィルタは個々に色分けすることができ、さらには削除すべきスパムをマークすることもできます。また、フィルタを使用して、必要なメールを保護することも可能です。詳細については、39 ページの「[設定 — フィルタ](#)」を参照してください。

ポータブル スパム ブロッカとしての機能

外出が多く、ノートブック コンピュータを持ち歩けないユーザを支援するため、Chrysanth Mail Manager は、小さなドライブ (USB ドライブなどのポータブル デバイス) にコピーして持ち運び、ポータブル スパム ブロッカとして実行できるようになっています。

インターネット カフェのような公共のホスト コンピュータにポータブル デバイス (USB ドライブ) を差し込むだけで、100% プライバシの保護された環境で簡単に利用できます。

- ホスト コンピュータに個人のメッセージが保存されることはありません
- 再インストールやアカウントの再設定を行う必要はありません
- 小さな記憶領域だけが必要です

Chrysanth Mail Manager をポータブル スпам ブロッカとして実行するには、以下の手順に従います。

1. インストール済みの実行可能ファイル (デフォルトでは、**C:¥Program Files¥Chrysanth¥NETime¥Mail Manager¥CSMailManager.exe**) を対象のポータブル デバイス (USB ドライブ) にコピーします。実行可能ファイルはルート フォルダまたは任意のフォルダにコピー可能です。

メモ: 実行可能ファイルを特定のフォルダに置くと、組織化されたフォルダ構造内に作成されたすべての関連設定ファイルを維持するのに役立ちます。

2. 空のテキスト ファイル (拡張子 ".txt") またはその他のファイルを作成し、"Portable.csw" という名前を付けます。

メモ: このファイルを作成しておくことで、Chrysanth Mail Manager は、ホスト コンピュータのユーザ プロファイルの代わりに、すべてのユーザ関連情報を同じフォルダに格納し、ポータブル スпам ブロッカとして機能するようになります。

3. 上記の 2 つの手順を正しく行ったら、Chrysanth Mail Manager をポータブル スпам ブロッカとして任意のホスト コンピュータで実行できるようになります。単にポータブル デバイス (USB ドライブ) をホスト コンピュータに挿入し、Windows エクスプローラから実行可能ファイルを起動するだけです。Chrysanth Mail Manager は標準のスпам ブロッカ モードと同じように実行されます。

また、Iomega ActiveDisk フォーマットと完全互換の Chrysanth Mail Manager のバージョンも提供されています。このバージョンは Iomega ActiveDisk 技術互換メディアにインストールすることができ、メディアがホスト コンピュータに読み込まれたら自動的に起動されます。

電子メール通知機能

Chrysanth Mail Manager は電子メール通知ツールとしても優れています。バックグラウンドで、登録されたすべてのアカウントの受信メールを定期的にスキャンし、スパムを自動的に正当なメールと区別した上で通知します。

新しいお友達メールを検出すると、"メールを受信しました" 音と共にシステムトレイに緑のアイコンを表示することで通知します。このトレイ アイコンは次回のメールチェックが自動的に開始されるまで残ります。



メールを受信しました!

潜在的なスパムを検出すると、"スパムを受信しました" 警告音と共にシステムトレイに赤いアイコンを表示することで通知します。このトレイ アイコンもまた次回のメールチェックが開始されるまで残ります。



スパムを受信しました!

もちろん、簡単なオプションを設定するだけで、スパムは検出と同時に自動的に削除されるようにすることができるため、これらすべてのスパムをサーバからダウンロードしていちいち読む必要はなくなります。

メニュー

Chrysanth Mail Manager には、以下のメニューが用意されています。詳細については、各メニューのトピックを参照してください。

- 20 ページの「[\[ファイル\]メニュー](#)」
- 22 ページの「[\[表示\]メニュー](#)」
- 29 ページの「[\[電子メール\]メニュー](#)」
- 33 ページの「[\[設定\]メニュー](#)」
- 42 ページの「[\[履歴\]メニュー](#)」
- 43 ページの「[\[ヘルプ\]メニュー](#)」

[ファイル] メニュー

[ファイル] メニューには、以下のコマンドが用意されています。

メールのチェック

[メールのチェック] コマンドでは、指定のメール アカウント内で待機中のメールを探し、コンピュータにダウンロードすることなく、そのメールに何が含まれているかをメール リストに表示します。

複数のメール アカウントのうち 1 つだけをチェックする場合は、[ファイル] メニューの [メールのチェック] サブメニューから目的のアカウントをクリックします。[メールをチェック] ツールバー ボタンの横のプルダウン リストを使用しても同じ操作が行えます。

ヒント: [メールをチェック] ボタンをクリックした場合の動作は、[ファイル] メニューの [メールのチェック] サブメニューから [デフォルト アカウント] をクリックした場合の動作と同じです。つまり、登録しているすべてのメール アカウントのメールが自動的にチェックされます。

メールの処理

[メールの処理] コマンドでは、メール リストに表示されている削除や拒否などの操作を実行できます。[削除] ボックスがチェックされていると、そのメールはサーバから削除され、コンピュータにダウンロードされることはありません。[拒否] ボックスがチェックされていると、アドレスが存在しない旨を示すメッセージをスパムに送信し、同じようなメールが今後送信されないように対処できます。

複数のメール アカウントのうち 1 つだけを処理する場合は、[ファイル] メニューの [メールの処理] サブメニューから目的のアカウントをクリックします。[メールを処理] ツールバー ボタンの横のプルダウン リストを使用しても同じ操作が行えます。

ヒント: [メールを処理] ボタンをクリックした場合の動作は、[ファイル] メニューの [メールの処理] サブメニューから [デフォルト アカウント] をクリックした場合の動作と同じです。つまり、メール リスト上のすべてのメールが処理されます。

処理後は、通常、ご使用の電子メール プログラムに切り替えて、メールをコンピュータにダウンロードします。これにより、必要なメールだけを確実にコンピュータにダウ

ンロードできるようになります。処理後に電子メール プログラムを自動的に起動する方法については、33 ページの「[設定 - オプション - メール](#)」を参照してください。

停止

[停止] コマンドでは、Chrysanth Mail Manager の現在のアクティビティ (メールのチェックや処理、DNSBL サーバでのチェック、など) を停止できます。

複数のメール アカウントに対するアクティビティのうち、現在のアカウントのアクティビティを停止する場合は、[ファイル] メニューの [停止] サブメニューから [現在のアカウントをスキップ] をクリックします。[停止] ツールバー ボタンの横のプルダウン リストを使用しても同じ操作が行えます。

ヒント: [停止] ボタンをクリックした場合の動作は、[ファイル] メニューの [停止] サブメニューから [停止] をクリックした場合の動作と同じです。

[表示] メニュー

[表示] メニューには、以下のコマンドが用意されています。[メール クライアント] コマンドを除いて、[表示] メニューのすべてのコマンドがメール リストをカスタマイズするためのものです。これらのコマンドは、[表示] ツールバー ボタンの横のプルダウン リストからも利用可能です。

ヒント: [表示] メニューの各コマンドに簡単にアクセスするには、メール リスト上部のカラム ヘッダのいずれかを右クリックします。ドロップダウン メニューが表示され、[電子メール クライアント] 以外のすべてのコマンドが利用可能です。

電子メール クライアント

[電子メール クライアント] コマンドでは、ご使用の電子メール プログラムを起動できます。[メールの処理] コマンドによる処理が終了した時点で自動的に起動するように設定することも可能です。詳細については、33 ページの「[設定 - オプション - メール](#)」を参照してください。

ヒント: [表示] ボタンをクリックした場合の動作は、[表示] メニューの [電子メール クライアント] をクリックした場合の動作と同じです。

自動フィルタ

[自動フィルタ] では、強力なフィルタリング機能により、大量のメールを簡単に振り分けすることができます。確認が必要なメールだけをメール リストに表示するようにフィルタを設定すれば、それ以外のメールは自動的に表示されなくなります (何も削除する必要はありません)。

自動フィルタをオンにするには、[表示] メニューの [自動フィルタ] をクリックします。自動フィルタがオンの状態のときは、メール リストの各カラム ヘッダの右側に下矢印が表示されます。この矢印をクリックすると、各カラムに対応したメニューが表示されます (選択したカラムによって表示されるメニューは異なります)。ただし、[[すべて]] と [[カスタム]] の 2 つのオプションはすべてのメニューの先頭に表示されます。[[すべて]] オプション (デフォルト) を選択すると、すべての行が表示されます。[[カスタム]] オプションを選択すると、独自のフィルタを定義するためのダイアログ ボックスが表示されます。詳細については、以下の説明を参照してください。

ここでは、自動フィルタの使用方法について例を挙げて説明します。この例では、メール リストに大量のメールがあり、その一部で [ステータス] カラムに「**スパム**」と表示されているものがあることを想定しています。稀に正当なメールもスパムとして間違っ
て識別される場合があるため、[ステータス] カラムが「**スパム**」となっているメールだけを表示してチェックしたいとします。

まず、[ステータス] カラムの下矢印をクリックして、フィルタ メニューを開きます。先頭の 2 つのオプションは常に [(すべて)] と [(カスタム)] です。それ以外は、メール リストの [ステータス] カラムの実際の情報に基づいて表示されます。たとえば、「**スパム**」、「**正常**」、または「**お友達**」と表示されている場合、これらが [ステータス] カラムのフィルタ メニューに表示されることとなります。

この例では、スパムだけを表示したいのでフィルタ メニューから「スパム」を選択します。自動フィルタが適用されると、[ステータス] カラムの下矢印が青色に変化し、メール リストにはスパムだけが表示されるようになります。なお、複数のフィルタを同時に設定することも可能です。

ヒント: 自動フィルタは、そのカラムのフィルタ メニューで [(すべて)] を選択しない限り解除されません。[表示] メニューの [自動フィルタ] をオフ (チェックマークのあるコマンドを再度クリック) しても、カラム ヘッダの下矢印がオフになるだけです。作業が完了して、フィルタを解除する場合は、自動フィルタをオンに戻し、カラムの青い下矢印をクリックして、フィルタ メニューから [(すべて)] を選択してください。

次に、独自のフィルタを定義する方法を紹介します。

この例では、メール リストに大小さまざまなサイズのメールがあることを想定しています。まず、自動フィルタをオンにして、[サイズ] カラムの下矢印をクリックします。メニューには、[(すべて)] と [(カスタム)] で始まり、サイズが小さい順にリストされています。ここでは **20KB** より大きいメールを探すものとします。

[サイズ] カラムのフィルタ メニューから [(カスタム)] を選択します。[カスタム フィルタ] ダイアログ ボックスが表示されます。この例では、[サイズ] カラムを使用しているため、ダイアログ ボックスは数字を扱うように設定されています。ダイアログ ボックスの左右にはそれぞれ 2 つのプルダウン リストと入力フィールドが配置されています。**20KB** より大きいメールを探すには、上の行だけを使用します。左上のプルダウン リストで [大きい] を選択し、右上の入力フィールドに「**20**」と入力したら、[OK] ボタンをクリックします。

これでメール リストにはサイズが **20KB** を超えるメールだけが表示されるようになります。[サイズ] カラムの下矢印が青色に変化し、フィルタが適用されていることを示します。

AND/OR の使い方

[カスタム フィルタ] ダイアログ ボックスには、AND/OR 機能も用意されています。ここでは、他の例を挙げて、この AND/OR 機能の使い方を紹介します。もう一度、[サイズ] カラムで作業し、メール リストには **30KB** 近辺のサイズに加え、大小さまざまなサイズのメールが含まれていることを想定しています。また、**30KB** 近辺のサイズで周知のウィルスが出回っているため、サイズ範囲を限定してメールをチェックしたいとします。

30KB 近辺のメールを抜き出すには、まず、[サイズ] カラムのフィルタ メニューから [(カスタム)] を選択します。次に、左上のプルダウン リストで [大きい] を選択し、右上の入力フィールドに「**25**」と入力します。また、左下のプルダウン リストで [小さい] を選択し、右下の入力フィールドに「**40**」と入力します。これで、「**25KB** より大きい」と「**40KB** より小さい」の 2 つの条件を設定したことになります。これらの条件の間で [AND] または [OR] を選択することができます。この場合は、**25KB** より大きく、"かつ" **40KB** より小さいメールを抜き出す必要があるため、[AND] を選択します。後は、[OK] ボタンをクリックするだけです。

これでメール リストには、**25KB** より大きく **40KB** より小さいメールだけが表示されるようになります。

上で紹介した例と同様の方法で、他のカラムのフィルタも適用することができます。なお、適用したフィルタは、[表示] メニューで [自動フィルタ] をオフにするだけでは解除されないことを留意しておいてください。フィルタを解除するには、各カラムの青い下矢印をクリックして、フィルタ メニューから [(すべて)] を選択する必要があります。

自動幅

[自動幅] コマンドでは、メール リストのカラム幅が **Chrysanth Mail Manager** のウィンドウに合わせて自動調整されるように設定できます。このコマンドは、デフォルトではオンになっています。オフに (チェックマークのあるコマンドを再度クリック) した場合、**Chrysanth Mail Manager** のウィンドウのサイズを変更した場合、または一部のカラム幅を変更した場合、右側に配置されているカラムが見えなくなります (この場合、ウィンドウ下部にスクロール バーが表示されます)。

ヒント: カラム幅を調整するには、マウス ポインタを 2 つのカラム ヘッダ間の分割線上に置き、左右にドラッグするだけです。件名や送信元のような重要なカラムを広くするなど、ニーズに合わせて自由に調整可能です。すべてのカラムをスクロール バーを使用しなくても見えるようにしておく場合は、カラム幅を調整する前に、[自動幅] コマンドがオンになっている ([表示] メニューでチェックマークが付いている) ことを確認してください。

メールの一部のデータがカラム幅よりも大きいため隠れている場合、マウス ポインタをそのセルに移動すると、データ全体が表示されるようになります。たとえば、メールの送信者の名前とアドレスが [送信元] カラムに一部分しか表示されていない場合、マウス ポインタをそのセルに移動すると、名前とアドレスがツールチップにすべて表示されます。

グループ化ボックス

[グループ化ボックス] コマンドでは、メール リストのデータの並べ替え方法を定義できます。以下に例を紹介します。

まず、[表示] メニューの [グループ化ボックス] コマンドをオンにします。メール リストの上部に、"グループ化するカラムのカラム ヘッダをドラッグします" というメッセージの付いた横長のボックスが表示されます。この例では、[ステータス] カラムのヘッダをこのボックスにドラッグすることで、「**スパム**」、「**正常**」、「**お友達**」などのステータス別にメールをグループ化します。

[ステータス] カラムのヘッダをドラッグすると、メールは各ステータス別にグループ化され、並べ替えられます。各ステータス名の左側に、[+] または [-] の記号が表示されます。[+] をクリックすると、グループが展開表示され、その中のすべてのメール リストを見ることができます。[-] をクリックすると、グループが折りたたまれ、ステータス名だけが表示されます。

[表示] メニューの [すべてを展開] と [すべてを閉じる] の 2 つのコマンドを使用すれば、すべてのグループを同時に展開したり、折りたたんだりすることができます。なお、[すべてを展開] コマンドはすべての [+] 記号をクリックした場合と同じ動作、[すべてを閉じる] コマンドはすべての [-] 記号をクリックした場合と同じ動作をします。

メール リストの上部のグループ化ボックスを解除するには、[表示] メニューの [グループ化ボックス] コマンドをオフにします。なお、この操作では、グループ化の設定は解除されません。

グループ化の設定を解除するには、グループ化ボックスを再び表示して、ボックスにドラッグしたカラムを元のカラム ヘッダ行にドラッグして戻します。

ヒント: メール リストのカラムの位置は必要に応じて変更することができます。ヘッダをカラム ヘッダ行の分割線をまたがって左右にドラッグすることで、緑の矢印ペアが表示されます。そこでヘッダをドロップすると、ヘッダが矢印ペアの位置に挿入されます。

フィールド選択

[フィールド選択] コマンドでは、メール リストに含めるデータの量を定義できます。
[表示] メニューの [フィールド選択] コマンドをクリックすると、[バンド] と [カラム] タブを持つ [カスタマイズ] ダイアログ ボックスが表示されます。[カラム] タブは、メール リストとの違いを示します (メール リストにはないカラムがこのタブに表示されます)。[バンド] タブは、主に **Chrysanth Enterprise** で、関連カラムをグループにまとめる際に使用されます。ユーザは、各カラムの代わりにバンドをドラッグすることでグループ全体を再配置することができます。

[カスタマイズ] ダイアログ ボックスの [カラム] タブに切り替えます。不要なデータのカラムをメール リストから選択します。たとえば、メール アカウントを 1 つだけしか利用していない場合、そのアカウント名を常に表示しておく必要はありません。[アカウント] カラムをメール リストから削除するには、[アカウント] カラムのヘッダを [カスタマイズ] ダイアログ ボックスにドラッグします (自動的に [カラム] タブに切り替わります)。他にも不要なカラムがあれば、同じようにメール リストからドラッグします。これでメール リストに必要なデータを表示するためのスペースができるはずです。重要なのは、リストをシンプルにし、簡単に明察できるようにすることです。

ヒント: カラムを [カスタマイズ] ダイアログ ボックスに移動した後、残りのカラム幅を調整する必要があります。カラム幅を調整するには、カラム ヘッダ間の分割線を左右にドラッグするだけです。[表示] メニューの [自動幅] コマンドをオンにしておけば、カラムはウィンドウ内にちょうど収まるように自動調整されます。

カラムを元の位置に回復するには、[表示] メニューの [フィールド選択] をクリックして、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスの [カラム] タブから目的のカラムをメール リストのカラム ヘッダ行にドラッグします。

すべてを展開

グループ化ボックスで作成したグループをすべて展開表示します。

すべてを閉じる

グループ化ボックスで作成したグループをすべて折りたたみます。

グリッドを表示

メール リスト内の各セルの細かい枠を表示します。このコマンドがオンの状態のときは、メニュー上にチェックマークが付きます。グリッドを消すには、[グリッドを表示] を再びクリックします。

バンドを表示

このコマンドは、[カスタマイズ] ダイアログ ボックス ([表示] – [フィールド選択]) の [バンド] タブからバンド (関連カラムのグループ) を設定した場合に使用します。

並べ替えを解除

このコマンドでは、メール リストに設定した並べ替えを解除できます。以下に例を紹介します。

各メールのサイズを基準に簡単に並べ替えを行うとします。この場合、[サイズ] カラムのカラム ヘッダをクリックします。カラム ヘッダ上に上矢印が表示されます。上矢印はメールが昇順で並べ替えされていることを示しています。カラム ヘッダを再びクリックすると、上矢印が下矢印に変わり、降順で並べ替えられます。

並べ替えが可能なのは同時に 1 種類だけです。[添付] カラムのカラム ヘッダをクリックすると、添付のないメールが先に表示されます。[件名] カラムのカラム ヘッダをクリックすると、各メールの件名の最初の文字を基準にアルファベット順で並べ替えられます。

最も便利な並べ替えは、[ステータス] カラムのカラム ヘッダをクリックすることです。メールのすべてのカテゴリ (スパム、お友達、フィルタ、正常、など) がグループ化されるため、メールの属するカテゴリを簡単に把握することができます。

上記のような並べ替えを解除する場合に、[表示] メニューの [並べ替えを解除] コマンドを使用します。このコマンドをクリックすると、最後に並べ替えを行ったカラム ヘッダの矢印がなくなり、並べ替えが解除されます。

デフォルトに回復

メール リストをデフォルトの表示設定に回復します。

[電子メール] メニュー

[電子メール] メニューには、以下のコマンドが用意されています。これらのコマンドは、[電子メール] ツールバー ボタンの横のプルダウン リストからも利用可能です。

メールを見る

メール リストで現在選択しているメールを読みます。**Chrysanth Mail Manager** には組み込みのビューアが備わっているため、個々のメールをご使用の電子メール プログラムにダウンロードすることなく、内容を読むことが可能です。なお、このコマンドではコピーを一時的にダウンロードしますが、元のメールはサーバに残ります。

ヒント: [電子メール] ボタンをクリックした場合の動作は、[電子メール] メニューの [メールを見る] をクリックした場合の動作と同じです。また、メールを選択してダブルクリックしてもメールを読みことができます。

Chrysanth Mail Manager の組み込みビューアは、**Javascript** やイメージを表示することはありません。そのため、悪意のあるメールがシステムに影響を与えたり、ウイルスに感染したりすることはありません。ただし、従来の電子メール プログラムと同様に、添付ファイルを開く際は注意が必要です。**exe**、**bat**、**pif**、**scr**、**com** などの拡張子を持つファイルは常に疑うようにしてください。たとえそのメールが知人から送られてきたものであっても、本人に確認してから開くことをお勧めします。

メールをお友達リストに追加

メール リストで現在選択しているメールの送信元アドレスをお友達リストに追加します。これにより、**Chrysanth Mail Manager** によって正当なメールが間違ってスパムとして認識されることを回避できます。また、お友達リストからのメールは **DNSBL** サーバでチェックする必要がないので、処理速度の向上につながります。

同じ操作をメール リスト上で行うことも可能です。この場合は、該当するメールの [お友達] カラムのボックスをチェックするだけです。

ヒント: [電子メール リスト] ダイアログ ボックス ([設定] - [電子メール リスト]) の [お友達リスト] タブで [インポート] ボタンをクリックすれば、**Windows** のアドレス帳に登録されているアドレスをお友達リストにインポートすることができます。

電子メールをブラックリストに追加

メール リストで現在選択しているメールの送信元アドレスをブラックリストに追加します。ブラックリストのアドレスは、自動的に "削除" としてマークされます。これにより、**Chrysanth Mail Manager** によって確実にスパムとして認識されるようになります。また、ブラックリストのメールは **DNSBL** サーバでチェックする必要がないので、処理速度の向上につながります。

同じ操作をメール リスト上で行うことも可能です。この場合は、該当するメールの [ブラックリスト] カラムのボックスをチェックするだけです。

ヒント: [電子メール リスト] ダイアログ ボックス ([設定] - [電子メール リスト]) の [ブラックリスト] タブで [インポート] ボタンをクリックすれば、ご使用の電子メール プログラムでブロック済みのアドレスをブラックリストにインポートすることができます (35 ページの「[設定 - 電子メール リスト - ブラックリスト](#)」を参照)。

電子メールを電子メール リストから削除

メール リストで現在選択しているメールの送信元アドレスがお友達リストまたはブラックリストに登録されている場合にそのアドレスを削除します。

同じ操作をメール リスト上で行うことも可能です。この場合、該当するメールの [お友達] または [ブラックリスト] カラムのボックスのチェックを解除するだけです。

いずれかのリストから複数のアドレスを削除する方法については、35 ページの「[設定 - 電子メール リスト](#)」を参照してください。

ドメインをお友達リストに追加

ドメインとは、電子メール アドレスのうち "@" マークの右側の部分を指します。電子メールのお友達リストには完全なアドレスが登録されますが、ドメインのお友達リストにはドメインのみが登録され、自動的にそのドメインのすべてのアドレスが含まれることとなります。たとえば、企業で所有しているメール ドメインは、通常、ドメインのお友達リストの候補として考えられます。

このコマンドでは、メール リストで現在選択しているメールを評価し、送信元のドメインをドメインのお友達リストに追加します。ドメイン リストに関する操作は、[設定] メニューの [ドメイン リスト] コマンドを使用しても可能です (36 ページの「[設定 - ドメイン リスト](#)」を参照)。

ドメインをブラックリストに追加

ドメインとは、電子メール アドレスのうち "@" マークの右側の部分を指します。電子メールのブラックリストには完全なアドレスが登録されますが、ドメインのブラックリストにはドメインのみが登録され、自動的にそのドメインのすべてのアドレスが含まれることとなります。スパムは特定のメール ドメインを利用していることが多く、これらのドメインはドメインのブラックリストとしては良い候補です。

このコマンドでは、メール リストで現在選択しているメールを評価し、送信元のドメインをドメインのブラックリストに追加します。ドメイン リストに関する操作は、[設定] メニューの [ドメイン リスト] コマンドを使用して行うことも可能です (36 ページの「[設定 - ドメイン リスト](#)」を参照)。

ドメインを中立リストに追加

ドメインとは、電子メール アドレスのうち "@" マークの右側の部分を指します。上記のコマンド (ドメインをブラックリストに追加) を使用すれば、簡単にドメインをブラックリストに登録できますが、時にはブラックリストに登録してしまいがちなドメインでも正当なメールに利用されていることがあります。たとえば、**hotmail.com** や **yahoo.com** が該当します。これらのドメインを中立リストに登録しておくことで、間違っ
てブラックリストに登録してしまうことを回避できます。

このコマンドでは、メール リストの現在選択しているメールを評価し、送信元のドメインをドメインの中立リストに追加します。ドメイン リストに関する操作は、[設定] メニューの [ドメイン リスト] コマンドを使用して行うことも可能です (36 ページの「[設定 - ドメイン リスト](#)」を参照)。

ドメインをドメイン リストから削除

ドメインとは、電子メール アドレスのうち "@" マークの右側の部分を指します。指定のドメインがドメイン リストの 1 つ (お友達リストまたはブラックリスト) に登録されている場合、そのドメインのすべてのアドレスが同じカテゴリとして扱われます。

このコマンドでは、メール リストで現在選択しているメールを評価し、送信元のドメインをいずれのリストからも削除します。ドメイン リストに関する操作は、[設定] メニューの [ドメイン リスト] コマンドを使用して行うことも可能です (36 ページの「[設定 - ドメイン リスト](#)」を参照)。

メール リストを消去

このコマンドでは、メール リストに現在表示されているデータをすべて消去します (サーバからメールが削除されるわけではなく、表示上消去されるだけです)。[メールのチェック] コマンドを使用しても、現在のデータが自動的に消去されます。

[設定] メニュー

[設定] メニューには、以下のコマンドが用意されています。

これらのコマンドは、[オプション] ツールバー ボタンの横のプルダウン リストからも利用可能です。

45 ページの「[メニュー バーおよびツールバーのカスタマイズ](#)」も参照してください。

オプション

[Chrysanth Mail Manager オプション] ダイアログ ボックスを表示します。このダイアログ ボックスには以下の 5 つのタブが用意されており、Chrysanth Mail Manager の各処理を制御することができます。なお、[オプション] ツールバー ボタンをクリックしても、このダイアログ ボックスを表示することができます。

- 一般

Chrysanth Mail Manager の自動実行、トレイ アイコン、およびサウンドの制御が可能です。チェック ボックスをオンにすると、対応する機能が有効になります。

- メール

[予定] パネルでは、メールのチェックタイミングを設定できます。[メール チェック間隔 __ 分] オプションには、通常、メール処理が完了する時間よりも大きい値を指定します。また、[処理後電子メール クライアントを起動] チェック ボックスをオンにすると、メールの処理後に通常の電子メール プログラムが自動的に起動されるようになります。

メールの処理後、自動的にご使用の電子メール プログラムに切り替えるには、[メール クライアント] パネルの [処理後電子メール クライアントを起動] チェック ボックスをオンにします。メールの処理では、"削除" としてマークされたメールをサーバから削除します。そのため、処理後にご使用の電子メール プログラムに切り替えることが、スパムを読み込まないための最も適したタイミングになります。

- 対処

スパムとして識別されたメール、または**ブラックリスト**のアドレスやドメインからのメールを自動的に "削除" または "拒否" としてマークするように設定できます。"拒否" としてマークした場合、アドレスが存在しない旨を示すメッセージをスパムに送信します。時には、正当なメールが間違っしてスパムとして処理されることがあります。そのため、間違っして削除されることがないように、各種のオプションを調整して、より確実にする必要があります。

通常、メールが自動的に "削除" としてマークされても、[メールの処理] コマンドを実行するまでは、メール リストでそれらのメールを確認することができます。ただし、自動処理のオプション (以下の「自動処理」を参照) を設定している場合は、"削除" としてマークされたメールが確認前に自動的に削除されてしまうことがあるので注意してください。

- **自動処理**

自動処理のオプションを設定すると、[メールのチェック] コマンドによる処理が完了した時点で、メールが自動的に処理されます ([メールの処理] コマンドが自動的に実行されます)。[メールの処理] コマンドの主な動作は、不必要なメールの削除であるため、このオプションを使用するには少しリスクを伴います。

[対処] タブで特定のメールを自動的に "削除" としてマークするためのオプションを設定している場合に、自動処理のオプションを不用意に使用すると、メールがメール リストで確認する前にサーバから削除されてしまうことがあります。[自動処理] タブには、自動処理を行うか否かをメールの種類別に指定できるオプションが用意されているので、慎重に設定することをお勧めします。

Chrysanth Mail Manager をしばらく使用しているうちに、不要なメールを識別する方法が見えてくるはずです。そのときこそ自動処理を設定する良い機会です。

- **履歴**

履歴とメール ログを維持する日数を設定できます。

アカウント

Chrysanth Mail Manager を初めて起動すると、ウィザードの指示に従って、ご使用のデフォルト メール アカウントをインポートできるようになっています。メール アカウントを追加または修正する場合は、[設定] メニューの [アカウント] コマンドを使用します。

デフォルトでは、メールはすべてのメール アカウントで管理されるように設定されていますが、この設定は [アカウント設定] ダイアログ ボックスで調整可能です。

複数のメール アカウントを所有している場合、メール リスト上に表示されるアカウント名を変更することができます。たとえば、"mail.myoffice.com" と "mail.athome.com"

の 2 つのアカウントを所有しているとします。これらのアカウントをメール リスト上に簡素に表示するには、[アカウント設定] ダイアログ ボックスで対象のアカウントを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。[アカウント詳細] ダイアログ ボックスが表示されたら、[一般] タブの [メール アカウント] ボックスに新しいアカウント名を入力します。この例では、"mail.myoffice.com" の代わりに「仕事」、また "mail.athome.com" の代わりに「ホーム」と入力できます。なお、この名前の変更は、Chrysanth Mail Manager でのみ有効で、ご使用の電子メール プログラムでのアカウントには影響することはありません。

[アカウント詳細] ダイアログ ボックスのその他の設定については、通常、変更する必要はありません。

電子メール リスト

Chrysanth Mail Manager では、2 種類の電子メール アドレス リストを設定することができます。1 つは "お友達リスト"、もう 1 つは "ブラックリスト" と呼ばれるものです。これらのリストからのメールはメール リスト上で明示されるため、必要か不必要かが一目でわかるようになっています。

• お友達リスト

お友達リストを最も簡単に作成する方法は、Windows のアドレス帳に登録されているすべてのアドレスをインポートすることです。[インポート] ボタンをクリックするだけで、Chrysanth Mail Manager によって自動的に処理されるようになっています。

リストに 1 つのアドレスを追加するには、[電子メール] フィールドに対象のメールアドレスを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

リストからアドレスを削除するには、赤い [X] ボタンをクリックします。お友達リストからブラックリストに移動するには、黒い [B] ボタンをクリックします。

• ブラックリスト

ご使用の電子メール プログラムで送信元のアドレスをブロック リストに追加したことがある場合、そのブロック済みアドレスをブラックリストにインポートすることができます。[インポート] ボタンをクリックするだけで、Chrysanth Mail Manager によって自動的に処理されるようになっています。

リストに 1 つのアドレスを追加するには、[電子メール] フィールドに対象のメール アドレスを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

リストからアドレスを削除するには、赤い [X] ボタンをクリックします。ブラックリストからお友達リストに移動するには、緑の [F] ボタンをクリックします。

デフォルトでは、ブラックリストに登録済みのアドレスからのメールは、自動的に "削除" および "拒否" としてマークされます。この設定は、[Chrysanth Mail Manager オプション] ダイアログ ボックス ([設定] - [オプション]) の [対処] タブで変更できます。

ドメイン リスト

ドメインとは、電子メール アドレスのうち "@" マークの右側の部分を指します。数千、数百万のアドレスを単一のドメイン内に設定することができます。アドレスが膨大にあってもその良否をドメインに基づいて判断できるので、メールの管理が簡素化されます。

Chrysanth Mail Manager では、3 種類の電子メール ドメイン リストを設定することができます。"お友達リスト"、"ブラックリスト"、および "中立リスト" と呼ばれるものです。お友達リストまたはブラックリストのドメインからのメールはメール リスト上で明示されるため、必要か不必要かが一目でわかるようになっています。

• お友達リスト

ドメインをお友達リストに追加するには、[ドメイン] フィールドにメール アドレスの "@" マークの右側の部分をすべて入力し、[追加] ボタンをクリックします。

ヒント: 同じ操作をメール リストから行うことも可能です。この場合は、該当するドメインからのメールをメール リストで選択し、[電子メール] メニューの [ドメインをお友達リストに追加] をクリックします。

リストからドメインを削除するには、赤い [X] ボタンをクリックします。お友達リストからブラックリストに移動するには、黒い [B] ボタンをクリックします。お友達リストから中立リストに移動するには、青い [N] ボタンをクリックします。

- **ブラックリスト**

ドメインをブラックリストに追加するには、[ドメイン] フィールドにメール アドレスの "@" マークの右側の部分をすべて入力し、[追加] ボタンをクリックします。

ヒント: 同じ操作をメール リストから行うことも可能です。この場合は、該当するドメインからのメールをメール リストで選択し、[電子メール] メニューの [ドメインをブラックリストに追加] をクリックします。

リストからドメインを削除するには、赤い [X] をクリックします。ブラックリストからお友達リストに移動するには、緑の [F] ボタンをクリックします。ブラックリストから中立リストに移動するには、青い [N] ボタンをクリックします。

デフォルトでは、ブラックリストに登録済みのドメインのアドレスからのメールは、自動的に "削除" および "拒否" としてマークされます。この設定は、[Chrysanth Mail Manager オプション] ダイアログ ボックス ([設定] - [オプション]) の [対処] タブで変更できます。

- **中立リスト**

中立リストは、ブラックリストに追加されることを回避したいドメインを管理するためのリストです。たとえば、"hotmail.com" や "yahoo.com" などのドメインは、数百万のアドレスで使用されていて、多くの正当なメールを含んでいます。中立リストに登録している限り、これらのドメインのメールがブラックリストに追加されることはありません。

ドメインを中立リストに追加するには、[ドメイン] フィールドにメール アドレスの "@" マークの右側の部分をすべて入力し、[追加] ボタンをクリックします。

ヒント: 同じ操作をメール リストから行うことも可能です。この場合は、該当するドメインからのメールをメール リストで選択し、[電子メール] メニューの [ドメインを中立リストに追加] をクリックします。

リストからドメインを削除するには、赤い [X] ボタンをクリックします。中立リストからお友達リストに移動するには、緑の [F] ボタンをクリックします。中立リストからブラックリストに移動するには、黒い [B] ボタンをクリックします。

DNSBL サーバ

DNSBL は、Domain Name System (または Server) Blackhole List の略です。別の用語として、RBL (Realtime Blackhole List) が同じ意味で使用されています。Blackhole List (ブラックホール リスト) とは、スパムが悪事のために利用するオープンなメール レイのリストです。これらのレイ リストを更新しながら維持することで、DNSBL サーバは、スパム対策として非常に有用な手段となります。DNSBL サーバでチェックされると、"リストにない" (スパムでないことを意味します) または "リストにある" (スパムの可能性があることを意味します) のいずれかの応答があります。

これらの結果は、最善ではありませんが、あくまで推定であることに留意してください。スパムの中には、既知のレイからは送信されず、DNSBL サーバでは対処できないものもあります。これらのスパムに対処するために、Chrysanth Mail Manager には、メールアドレスやドメインをブラックリストに登録したり、スパムをフィルタリングしたりするための機能も用意されています。これらの機能を DNSBL サーバ と併せて使用すると、スパム対策に非常に効果的です。

また、時には DNSBL サーバが正当なメールを間違っしてスパムとして判断してしまうこともあります。そのため、メール リストに表示される内容には十分注意を払う必要があります。さもないと、正当なメールを喪失してしまうことになります。DNSBL サーバの中には、"慎重" に動作するものもあれば、"積極的" に動作するものもあります。"慎重" な DNSBL サーバは正当なメールとして利用されたことのないドメインのみをリストしますが、"積極的" な DNSBL サーバは少しでもスパム アクティビティのあるドメインは強制的にスパムとして判断してしまうため利用するにはリスクを伴います。

DNSBL の間違っした応答から正当なメールを守るために、Chrysanth Mail Manager では、お友達リストを作成したり、フィルタを設定したりすることができるようになっています。

[設定] メニューの [DNSBL サーバ] をクリックすると、[リアルタイム ブラックホール リスト サーバ設定] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスには、Chrysanth Mail Manager であらかじめ準備されている DNSBL サーバのリストが表示され、そのうち 3 つまたは 4 つがデフォルトで選択されています。必要に応じて、別のサーバを試して、その応答結果を確認してみてください。どの DNSBL サーバがスパムの識別に適しているかがわかったら、信頼済みサーバとしてチェックするとよいでしょう。信頼済みサーバとしてチェックしておくと、自動処理オプション ([設定] - [オプション]) を使用する際に有効です。つまり、安全のために、"削除" としてマークされたメールを信頼されたソースで識別されるまで自動的に削除しないように指定することができます。

フィルタ

フィルタは、スパムを選別したり、正当なメールがスパムとしてマークされないように保護したりするためのルールです。通常ご使用の電子メール プログラムでフィルタを設定した経験がある場合、**Chrysanth Mail Manager** の [フィルタ] ダイアログ ボックスの使い方を既に知っていることとなります。初めての場合でも、以下の例を見れば、設定方法がいかに簡単で、また利用価値が高いかを理解できるでしょう。

例を紹介する前に、フィルタを利用した場合の効果について考えてみましょう。まず、フィルタで捕らえられたすべてのメール (スパムまたは正当なメールとして識別される) は、DNSBL サーバで評価されることなく、すぐにメール リストに追加されます。そのため、パフォーマンスがはるかに向上します。また、これらのメールは、メール リストの [ステータス] カラムに「**フィルタ**」 (**スパム**、**正常**、**お友達**、などではない)、[理由] カラムにそのフィルタ名が明示されます。そのため、より明確に目的のメールを識別することが可能になります。

最初の例では、受信したいメールを識別するためにフィルタを設定します。[設定] メニューの [フィルタ] をクリックします。[フィルタ] ダイアログ ボックスが表示されます。新規のフィルタを作成するので、[追加] ボタンまたは [<ここをクリックして新しいフィルタを追加>] をクリックします。[フィルタ状態] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、新しいフィルタの名前、説明、フィルタ条件 (ルール) を設定したり、フィルタのプロパティ ([プロパティ] タブ) やメール リストでの表示形式 ([表示] タブ) を指定したりすることができます。

この例では、あなたがビール レターというニュース レターに投稿したと想定します。人々がニュース レター内のあなたの投稿文に返信する場合、これらのメッセージの件名は必ず "[Beer-L]" で始まっています。通常、返信者は見知らぬ人であるため、お友達リストに追加する必要もありません。そのため、これらの返信メールを間違えてスパムとして識別してしまうことがあります。これは、一般的なシナリオです。

[フィルタ状態] ダイアログ ボックスで、作成するフィルタの名前を付けます。ここでは、[フィルタ名] フィールドに「ビール」と入力します。この名前はメール リストの [理由] カラムに表示されます。次に、[説明] フィールドに「ビール レターからのフィールドバック」と入力します。

フィルタにルールを設定するには、[追加] ボタンまたは [<ここをクリックして新しい条件を追加>] をクリックします。新しい行「件名 含む <?>」が表示されます。各要素

は下線で分離されています。[件名] をクリックすると、[すべてのヘッダ] や [送信先] などの各種オプションのボックスが表示されます。[含む] をクリックすると、[含まない] や [空] などに切り替えるためのボックスが表示されます。この例では、「件名 含む」が目的の条件になるので、単に[<?>] をクリックします。

[フィルタ値] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、フィルタで探す対象を指定できます。この場合、「Beer-L」を件名行で探すようにします。入力フィールドに「Beer-L」と入力し、[追加]、[OK] の順にクリックします。これで、[フィルタ状態] ダイアログに戻って、必要に応じて別の条件を追加したり、次のプロパティの設定に進むことができます。

[プロパティ] タブをクリックして、フィルタがどのように処理されるかを定義します。最初のオプションは、[正当なメール] チェック ボックスです。デフォルトでは、このチェック ボックスはオンになっています。ビール レター メールを保護するためには、このチェック ボックスはオンのままにしておきます。次に、[フィルタの適用] でフィルタの適用タイミングを指定します。矢印をクリックして、プルダウン リストから、目的のオプションを選択します。

フィルタの適用タイミングは、「メール リスト (お友達リストまたはブラックリスト) での評価前」、「メール リストでの評価後、ドメイン リスト (お友達リストまたはブラックリスト) での評価前」、「ドメイン リストでの評価後」のいずれかになります。なお、評価は、フィルタ、メール リスト、ドメイン リスト、単一の DNSBL サーバの順に行われ、これらいずれかの評価でメールが識別されると、そのメールに対する評価処理は終了します。たとえば、ビール レターを使用したメッセージがスパムとして存在していると想定してみましょう。この場合、1 つの解決方法は、これらのスパムをブラックリストに登録し、メール リストでの評価後に適用するフィルタを設定することです。または、別の条件をフィルタに設定し、これらを捕らえることです。今回の場合でいえば、前者の方が適しています。

最後に、[表示] タブをクリックします。ビール レター フィルタは正当なメール用なので、ステータスおよび理由フラグのデフォルト色は、白地に青にします。これらの色を変更するには、[背景] または [前景] ボックスをクリックして、色を選択します。

ビール レター フィルタの定義が終了したら、メインの [フィルタ] ダイアログ ボックスに戻ります。

さらに別のフィルタを設定してみましょう。お金儲けに関するメールをスパムとして識別し、削除するためのものです。

再度、[追加] または [<ここをクリックして新しいフィルタを追加>] をクリックします。今回は、スパム用のフィルタを作成します。同時に、フィルタが知人からのメールに影響がないことを確認しておく必要があります。このフィルタには「Scam」という名前を付け、適切な説明を入力します。[状態] タブで [<?>] をクリックし、今回は、いくつかの一般的な単語、「お金」、「現金」、「クレジット」、「ローン」などを入力します。単語を入力したら、Enter を押すか、[追加] をクリックします。入力した単語は、[単語] リストで "or" 条件としてリストされます。[or] をクリックすることで "and" に切り替えることができます。なお、"or" はいずれかの単語、"and" は両方の単語が存在するかどうかを調べます。すべての単語を入力したら、[OK] をクリックし、次の手順に進みます。

[プロパティ] タブをクリックして、「Beer-L」の例と同様に設定します。今回の例では、スパム用のフィルタなので、[正当なメール] チェック ボックスをオフにします。デフォルトでは、正当でないメールは、自動的に "拒否" および "削除" としてマークされます。[フィルタの適用] プルダウン リストから、今回は [メール リストの後、ドメイン リストの前] を選択します。これにより、お友達メール リストに登録されているあるアドレスから受信したメッセージは、先に識別され、このフィルタでは評価されないようになります。別の意味では、スパムとして判断されることなく、お友達はお金に関するメッセージをあなたに送信することができます。

スパム用フィルタの作成を完了するために、[表示] タブをクリックして、メール リストでの表示形式を指定します。デフォルトでは、正当でないメールは、白地にオレンジが設定されます。上述のように、この色は自由に変更することができます。

これで 2 つのフィルタを作成したことになります。1 つは正当なメール用、もう 1 つはスパム用のフィルタです。作成したフィルタは、メインの [フィルタ] ダイアログ ボックスで、必要に応じて、削除 ([削除] ボタンをクリック) または変更 ([プロパティ] ボタンをクリック) することができます。

[履歴] メニュー

[履歴] メニューには、以下のコマンドが用意されています。

これらのコマンドは、**[履歴]** ツールバー ボタンの横のプルダウン リストからも利用可能です。

履歴

[履歴] ウィンドウを表示します。

[概要] タブには、**Chrysanth Mail Manager** でスパム処理を行うことで節約された時間が表示されます。

[履歴] タブには、スパム メールやブラックリスト メールの毎日の記録数が表示されます。

[グラフ] タブには、**[履歴]** タブのデータに基づいて作成されたグラフが表示されます。直感的にスパムの量を把握することができます。

メール ログ

[メール ログ] ウィンドウを表示します。このウィンドウには、**[Chrysanth Mail Manager オプション] ダイアログ ボックス ([設定] - [オプション])** の **[履歴]** タブで指定した日数の間に受信したメールの完全なリストが表示されます。**[メール ログ]** タブのカラムは、メイン ウィンドウのメール リストの場合と同じように、**[表示]** メニューを使用してカスタマイズできます。

[ヘルプ] メニュー

shareEDGE DNSBL

shareEDGE DNSBL サービス ページ (<http://www.shareedge.com/modules/dnsbl/>) にアクセスします。shareEDGE では、日本発のスパム情報を中心にブラックリストをメンテナンスするためのサービスを無料で提供しています。このページでは、スパム送信サーバの IP アドレスの登録、照会、および登録解除を行うことができ、ブラックリストをより有用なものに成長させることができます。スパム メールによる被害を軽減するためにも、このサービスの活用をお勧めします。

オンライン ヘルプ

Chrysanth Mail Manager のオンライン ヘルプを表示します。

バージョン情報

[Chrysanth Mail Manager について] ダイアログ ボックスを表示します。このダイアログ ボックスでは、製品のバージョンやライセンス先などの情報を確認できます。

メニュー バーおよびツールバーのカスタマイズ

メニュー バーまたはツールバーをカスタマイズするには、右端のプルダウンをクリックします。

メニュー バーのカスタマイズ

メニュー バーをカスタマイズするには、メイン メニューの右端のプルダウンをクリックし、[ボタンの追加または削除] をクリックします。プルダウン メニューの 1 つ目のセクションには、メニュー バーに表示可能なすべてのメニュー アイテムがリストされています。デフォルトでは、すべてのメニューが表示されているので、各アイテムの左側にチェックマークが付いています。メニュー バーからメニューを削除するには、リスト上でチェックマーク付きのアイテムをクリックします。また、メニューバーにメニューを回復するには、チェックマークのないアイテムを再度クリックします。

メニュー バーをデフォルトの設定に回復するには、2 つ目のセクションの [ツールバーのリセット] をクリックします。メニュー バーのプルダウンを利用しているため、この設定はメニュー バーにのみ反映されます。

[カスタマイズ] コマンドの使い方については、46 ページの「[カスタマイズ](#)」を参照してください。

ツールバーのカスタマイズ

ツールバーをカスタマイズするには、ツールバーの右端のプルダウンをクリックし、[ボタンの追加または削除] をクリックします。プルダウン メニューの 1 つ目のセクションには、ツールバーに表示可能なすべてのボタン アイテムがリストされています。デフォルトでは、すべてのボタンが表示されているので、各アイテムの左側にチェックマークが付いています。ツールバーからボタンを削除するには、リスト上でチェックマーク付きのアイテムをクリックします。また、ツールバーにボタンを回復するには、チェックマークのないアイテムを再度クリックします。

ツールバーをデフォルトの設定に回復するには、2 つ目のセクションの [ツールバーのリセット] をクリックします。今回はツールバーのプルダウンを利用しているため、この設定はツールバーにのみ反映されます。

[カスタマイズ] コマンドの使い方については、46 ページの「[カスタマイズ](#)」を参照してください。

カスタマイズ

メニュー バーまたはツールバーのプルダウン メニューには、それぞれ [カスタマイズ] コマンドがリストの最後に用意されています。このコマンドをクリックすると、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスをすばやく表示するには、ツールバーを右クリックして、[カスタマイズ] をクリックします。

- ツールバー

デフォルトでは、[ツールバー] リストには、[メイン メニュー] と [メイン ツールバー] の 2 つのチェック ボックスが表示されています。[メイン メニュー] チェック ボックスはグレー表示されていて、チェック ボックスをオフにできないことを表しています。つまり、メイン メニューをウィンドウから隠すことはできません。一方、メイン ツールバーについては、[メイン ツールバー] チェック ボックスをオフにすることでウィンドウから隠すことができます。メイン ツールバーを回復するには、ダイアログ ボックスに戻って、チェック ボックスをオフにするだけです。

[ツールバー] タブの右側には、[新規]、[名前の変更]、[削除]、[リセット] の 4 つのボタンが配置されています。[メイン メニュー] または [メイン ツールバー] を選択した場合は、[名前の変更] と [削除] ボタンはグレー表示され、対応する操作を行えないことを表しています。

新しいツールバーを作成するには、[新規] をクリックします。[ツールバーの追加] ダイアログ ボックスでは、ツールバーの名前を入力し、[OK] をクリックします。すると、小さなツールバーが左上に表示されます。[コマンド] タブ (以下を参照) に切り替えて、目的のコマンドをドラッグし、この新しいツールバーの任意の位置にドロップします。作成したツールバーは、メイン ツールバーの上下左右、またはメイン メニューの上に移動可能です。ツールバーを移動するには、マウス ポインタをツールバー左端の垂直線上に置き、目的の位置にドラッグします。

作成したツールバーは、一時的にウィンドウから隠したり、名前を変更したり、完全に削除したりすることが可能です。一時的にウィンドウから隠すには、[ツールバー] リストで対象のツールバーのチェック ボックスをオフにします。チェック ボックスを再度オンにすると、ツールバーを回復することができます。名前を変更するには、[名前の変更] ボタンをクリックして、新しい名前を入力します。完全に削除するには、[削除] ボタンをクリックします。

メイン メニューまたはメイン ツールバーをデフォルトの設定に回復するには、[ツールバー] リストでそれらを選択して、[リセット] ボタンをクリックします。

- **コマンド**

[コマンド] タブでは、ツールバー コマンドの追加、削除、位置変更が可能です。左側の [カテゴリ] リストにはコマンドのカテゴリが表示され、右側の [コマンド] リストにはカテゴリ別のコマンドが表示されています。

左側にアイコンの付いたコマンドは、ツールバーにテキストと共にアイコンが表示されます。右側に矢印の付いたコマンドは、プルダウン メニューを含んでいます。[ファイル] カテゴリ内の一部のコマンドのように矢印が枠で囲まれている場合は、テキストの上に大きなアイコンが表示されます。矢印が枠で囲まれていない場合は、テキストの横にアイコンが表示されます (この場合のアイコンの大きさは、[オプション] タブ (以下を参照) で [大きなアイコン] チェック ボックスのオン/オフの設定に依存します)。[ファイル] カテゴリの矢印付きコマンドでは矢印をクリックすれば対応するプルダウン メニューが表示されますが、[メニュー] カテゴリのコマンドではコマンド自体をクリックしてもメニューが表示されます。

ツールバーにコマンドを追加するには、右側の [コマンド] リストから目的のコマンドをドラッグ アンド ドロップします。この操作で、[コマンド] リストからコマンドが削除されることはありません。このリストのコマンドは常に利用可能です。

ツールバーからコマンドを削除するには、目的のコマンドをツールバーから [カスタマイズ] ダイアログ ボックスの任意の位置にドラッグ アンド ドロップします。メイン メニューまたはメイン ツールバーのコマンドを削除することも可能です。

コマンドの位置を変更するには、目的のコマンドを同じツールバーの別の位置、または別のツールバーにドラッグします。

[カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示している状態で、ツールバーのコマンドをクリックしても実行されることはありません。ただし、このセクションで説明されている処理を行うために選択することは可能です。

コマンドを追加または削除することでメイン メニューをカスタマイズすることもできます (これは、メイン メニュー バーのメニューでのみ適用され、ツールバー ボタンのプルダウンでは利用できません)。メイン メニューにコマンドを追加する

には、目的のコマンドを [コマンド] リストからメイン メニューのタイトルにドラッグします。メニューが開かれたら、任意の位置にドロップします。メイン メニューからコマンドを削除するには、メニューを開き、目的のコマンドを [カスタマイズ] ダイアログ ボックスの任意の位置にドラッグ アンド ドロップします。メイン メニューのコマンドの位置を変更するには、メニューを開き、目的のコマンドを同じメニューまたは別のメニューの任意の位置にドラッグ アンド ドロップします。なお、これらの操作は、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスが表示された状態でのみ可能です。また、任意のメニュー アイテムまたはツールバー ボタンを右クリックすると、名前の変更、分割線の挿入または削除などの追加のカスタマイズ メニューが表示されます。

- **オプション**

[オプション] タブのオプションの中で [大きなアイコン] オプションは混乱を招きやすいかもしれません。このチェック ボックスのオン/オフの設定がメイン ツールバーのデフォルトのボタンに影響を及ぼすことはありません。しかし、アイコンの下ではなく、右側にテキストがあるボタンを追加した場合、これらのアイコンは大小いずれかに変更することができます。上述のように、[コマンド] タブにリストされたボタン コマンドの中には 2 つのバージョンがあるものがあります。1 つは枠で囲まれた矢印が付いているもの、もう 1 つは枠のない矢印が付いているものです。後者の場合、テキストはアイコンの右側に表示され、アイコンの大きさは [大きなアイコン] チェック ボックスのオン/オフの設定によって決まります。

その他の情報

ヒントとトリック

ここでは、Chrysanth Mail Manager を使いこなすためのヒントを紹介します。

- **クリック数を減らす** — メール処理後、自動的にご使用の電子メール プログラムに切り替えることができます。詳細については、33 ページの「[設定 — オプション — メール](#)」を参照してください。
- **お友達をマーク** — Windows のアドレス帳をお友達リストにインポートすることができます。詳細については、35 ページの「[設定 — 電子メール リスト](#)」を参照してください。お友達リストに登録されているアドレスからのメールは "お友達" としてマークされるため、間違えて削除してしまうことを回避できます。また、これらのメールは DNSBL サーバでの確認が必要ないため、パフォーマンスの向上につながります。
- **リストを見やすく** — デフォルトでは、メール リストにはメールに関するほぼすべての情報が表示されます。しかし、これらの情報がすべて必要であるとは限りません。不要な情報があれば、該当するカラムを削除することで、リストを簡略化することができます。これにより、情報の把握が容易になります。詳細については、26 ページの「[表示 — フィールド選択](#)」を参照してください。
- **高速化** — 上述のように、正当なメールとしてマークすれば、DNSBL サーバでの確認処理が不要になるため、パフォーマンスの向上につながります。また、フィルタを設定することで、正当なメールを保護したり、スパムを "削除" としてマークしても、パフォーマンスが向上します。詳細については、39 ページの「[設定 — フィルタ](#)」を参照してください。
- **すぐに読む** — 必要に応じて、メールはすぐに読むことができます。削除の確認、[メールの処理] のクリック、プログラムの切り替え、ダウンロードなどの処理を待つ必要はありません。メールをすぐに読むには、対象のメールをダブルクリック (または選択して [電子メール] ツールバー ボタンをクリック) するだけです。Chrysanth Mail Manager の組み込みビューアは Javascript やイメージを表示することもないので安全です。

- **並べ替え** — メール リストのカラム ヘッダをクリックすれば、簡単に情報を並べ替えることができます。たとえば、[ステータス] ヘッダをクリックすると、メールは、**スパム**、**お友達**、**フィルタ**、といったカテゴリ別にグループ化され並べ替えられます。また、[サイズ] ヘッダをクリックすると、メールはメッセージのサイズ順に並べ替えられます。詳細については、27 ページの「[表示 — 並べ替えを解除](#)」を参照してください。
- **すべてを表示** — アドレスや件名など、長い情報はメール リストのカラムに収まりきらないことがよくあります。このような場合、マウス ポインタを対象のセルに移動するだけで、完全な情報がツールチップとして表示されます。
- **再配置** — メール リストのカラムの位置は自由に変更することができます。任意のカラム ヘッダを分割線をまたがって左右にドラッグすることで、緑の矢印ペアが表示されます。そこでヘッダをドロップすると、ヘッダが矢印ペアの位置に挿入されます。件名や送信元のような重要なカラムの幅を広くすることもできます。詳細については、24 ページの「[表示 — 自動幅](#)」を参照してください。
- **右クリック** — メール リスト上の任意のカラム ヘッダを右クリックすると、[表示] メニューのすべてのコマンド ([電子メール クライアント] コマンドを除く) にアクセスできます。

サポートされているプロトコル

Chrysanth Mail Manager では、最も一般的な電子メール プロトコルである POP3 と IMAP4 がサポートされています。現時点では、Hotmail.com や MSN.com などで行われている Web ベースの HTTP メール プロトコルはサポートされていません (これらのサービスでは、既に強力なスパム フィルタリング機能が提供されているため)。

これらの Web ベースの HTTP メール プロトコル、またはその他のプロトコルの需要が高まった場合は、将来のバージョンの Chrysanth Mail Manager でサポート予定です。

サポート

技術的なご質問については、株式会社ネクステッジ テクノロジー テクニカル サポートまでお問い合わせください。なお、原則として、電話でのサポートは行っておりません。

テクニカル サポートへのお問い合わせ時には、あらかじめ以下の情報を準備しておいてください。

- **Chrysanth Mail Manager** のバージョン ([ヘルプ] – [バージョン情報] をクリック)
- **Windows** のバージョンとそのサービス パック ([コントロール パネル] – [システム] – [全般] タブをクリック)、およびその他のアップデート、またその言語 (英語版か各国語版か)
- 製品シリアル番号とアクティベーション キー
- 問題の説明 (問題の再現手順をできるだけ詳しく) – 問題の説明は、**Microsoft Word** やメモ帳などのファイルにまとめてから送信すると便利です

Web サポート

<https://www.shareedge.com/modules/contact/>

メール サポート

contact@nextEDGEtech.com

※ どのようなご質問についても 3 営業日以内にご回答いたします。